

入選

須藤 ひむろ(すどう ひむろ) 東浅川小 2年生

作品名:目ひょうはスイミー

図書:スイミー ちいさなかしこいさかなのはなし

わたしの兄は、スイミーが大すきです。スイミーみたいに、じょうきょうはんだんができるようになりたいと言っていました。スイミーってどんな話だろうときょうみが出て、わたしも読んでみました。

小さな赤いさかなのむれの中に一ぴきだけくろいスイミー。なかまがまぐろにたべられてしまい、海を一ぴきおよぐスイミーは、さみしくこわい気もちだったけど、すばらしいもの、おもしろいものがいっぱいあって元気になっていきました。スイミーは、なかまにそっくりなさかなに出会い、大きなさかなのふりをしておよぎ、みんなで大きなさかなをおいだすのにせいこうしたお話でした。

わたしはサッカーをしています。チームで女の子は、わたし一人だけです。コロナウイルスのせいで、れんしゅうができずに、チームをやめてしまったチームメイトがいました。

わたしは、スイミーを読んでコロナウイルスは、大きなさかなとおなじだと思いました。コロナウイルスのせいで、やめてしまったなかま。わたしは、スイミーのようになしくてさみしいです。でも、やっとれんしゅうがはじまり、あたらしいなかまが入ぶしてくれました。スイミーが海でおよいでいた時に会った、すばらしいもの、おもしろいものに出会ったおかげで、元気になっていったのも、あたらしいなかまが入ってよくわかります。だから、こんどは、スイミーみたいに、いっぱい考えて、みんなで大きなさかなをおいだしたように、わたしがいっぱい考えて、チームがかてるようにしたい。コロナウイルスでれんしゅうできなくても、みんなでサッカーがしたい。サッカーがいつもどおり、できる日まで自しゅれんをがんばる。って気もちでいられるようなチームになるように、わたしがチームのしれいとうになって、ひっぱっていけるようにがんばります。

わたしの目ひょうスイミーです。